

東京農業大学稲花小学校

学校だより【2022年12月12日】第148号



保護者会

12月1日(木)は4年生, 2日(金)は3年生, 5日(月)は2年生, そして6日(火)は1年生の保護者を対象とした保護者会を開催しました。4月に続いて対面で実施し, 体育館での全体会と学級ごとの学級懇談会としました。全体会では学校の近況に続き3, 4年生保護者向けには, 自分で学ぶ姿勢を養う家庭学習の大切さや進学について, 1, 2年生保護者向けには学びの習慣をつけ基礎を固める家庭学習の大切さや家庭と学校の連携について, 校長講話をいたしました。さらに, 4年生以外の学年では学務部主任から, 本好きな子どもが身につけることのできる特性を含め, 本に親しむことの大切さについて理解を深める学年講話がありました。児童の発達に合わせた本選びの大切さについて知ることができたのではないのでしょうか。その後, 農大稲花小教育後援会役員からの活動紹介, アフタースクールからは最近の活動や家庭, 学校に続く第三の居場所としてのアフタースクールの利用について説明がありました。最後に, 学年の担任から, 学年の目標や現状, 次年度に向けての希望などを含めたメッセージがありました。1時間ほど行われた学級懇談会も, 担任と保護者の皆様が久しぶりに, 懇談する良い機会となったようです。

11月末に行われた全保護者を対象とする定期個人面談や, 折々の個人面談, あるいはメールでの問い合わせなどを通して, 保護者の皆様と学校との連絡や連携が不十分にならないように努めてきたところです。しかし, 「対面」の力は大きいものがあります。担任の先生の顔を見たらなんだか安心しましたとか, 説明を聞いて, 今まで噂話で不安に思っていたことが払しょくできましたというお声もありました。次の「対面」行事は, 間もなく始まる給食の試食会です。よりくつろいだ雰囲気の中で, 給食についての理解を深めていただくとともに, 相互の親睦も深まることを期待しています。

馬術部訪問

12月2日(金)は1年1組が, 9日(金)は1年2組が, 東京農大世田谷キャンパスにある馬術部の馬場を訪問しました。昨年に続き今年も, 農友会馬術部の学生さんたちが子どもたちに馬房や馬場の案内や, 馬についての説明をしてくれました。オリンピックで活躍した馬の話, 何センチくらい跳躍できるのか, 馬の名前, オスカメスカ, 臭いや鳴き声, すべてが子どもたちの心に強く残ったようです。馬場の砂を触ったのがうれしかった子どももいます。大学生のように馬に乗りたいという子どももいました。教員からは, 子どもたちにわかりやすく説明をする大学生の素晴らしさに対する感想もありました。

馬術部を訪問した体験の何が, 子どもたちの心の引き出しのどこに入ったのかは, 誰にもわかりません。多分, 本人にも全部はわからないでしょう。しかし, 体験の一つ一つがいつか思い出としてよみがえり, 教室での学習を深めたり, 人生を豊かにしたりするにちがいありません。

シクラメン

今週、東京農業大学伊勢原農場で栽培したシクラメンを、いただきました。子どもたちが楽しめるようにといただいたシクラメンの明るい花色は、冬に入りやや縮こまっていた心を開放してくれるかのようです。多くの方々のやさしい気持ちに支えられている、農大稲花小の子どもたちは幸せです。

イルミネーションも明るく

農大稲花小と隣接する東京農業大学第一高等学校・中等部の正門付近は、夜になると今年も下校する生徒を照らすイルミネーションが輝いています。同校創立記念日の11月30日から2月中旬まで、教育後援会と同窓会からのプレゼントとのこと。冬の暗さの中で受験という試練に立ち向かう生徒たちの心を明るくするためのプレゼントとも聞いています。

農大稲花小でも、真っ暗になってからアフタースクールからの帰宅する子どもたちが多くいます。本校の子どもたちも、中高生のお兄さんお姉さん用のイルミネーションで心がライトアップされていることでしょう。

マダガスカルから

一般財団法人進化生物研究所からは、毎月、2箱の昆虫標本を貸与していただき、子どもたちが多様な生き物の世界への興味を養う一助としています。今月の標本は、マダガスカルがテーマ。マダガスカルシンジュツバメという、イギリスビクトリア朝時代には装身具にも加工されたという華やかな蛾の標本が1箱。美しい蛾ですが、幼虫には毒があり、成虫にも毒があるとのことでした。もう1箱は、美しい蛾とは対照的に、びっくりするくらい大きなゴキブリであるマダガスカルオオワラジゴキブリです。世界で一番大きいゴキブリだそうです。

珍しい昆虫標本は、農大稲花小の子どもたちだけでなく、来訪者の目もひいています。

一般財団法人進化生物学研究所 <https://www.nodai.ac.jp/rieb/>

第一回入学者説明会

12月10日(土)、2023年4月に入学予定となる子どもたちと保護者を対象とした第一回入学者説明会を開催しました。制服採寸の都合上、男子児童と女子児童の2部に分かれて行いましたが、入学予定の72名の名札を並べながらどのような子どもたちが入学してくるのか、楽しみな思いでいっぱいでした。校長からは、農大稲花小の児童と保護者となることへの自覚をうながすとともに、基礎学習を重んじ、今まで以上に家庭での教育が大切になること、さらに子どもがいつでも安心できる家庭と保護者であってほしいことについてお話をいたしました。続けて教頭より、登下校、持ち物、給食などの説明、養護教諭からは学校保健に関する説明、アフタースクールからはアフタースクールの意義と活動の紹介がありました。その後、保護者ととともに子どもたちは制服の採寸をしたり、文房具の購入申し込み等をしてから、帰宅しました。第二回入学者説明会は、2月に実施予定です。

東京農業大学稲花小学校
校長 夏秋 啓子